

令和3年6月7日

各位

会社名 株式会社マネーパートナーズグループ
 代表者名 代表取締役社長 福島 秀治
 (コード番号：8732 東証第一部)
 問合せ先 財務部長 権代 徹也
 (TEL. 03-4540-3804)

2021年5月次 月次概況(速報)のお知らせ

2021年5月次の当社グループの月次概況(連結ベース)を下記のとおりお知らせいたします。なお、営業収益及び外国為替取引預り証拠金は速報値であるため、決算発表時の数値と異なる場合があります。

記

年月	2021年3月期											
	2020年									2021年		
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
営業収益 (単位：百万円)	407	303	318	282	309	310	273	355	495	413	452	591
外国為替取引高 (単位：百万通貨単位)	82,072	92,851	106,893	75,910	85,460	82,287	60,129	75,348	71,190	66,894	71,453	97,402
外国為替取引口座数 (単位：口座)	340,605	340,735	340,825	340,830	340,840	340,768	341,218	341,138	341,086	341,521	341,690	342,122
外国為替取引預り証拠金 (単位：百万円)	62,460	62,004	61,807	62,331	62,751	65,155	62,104	61,812	61,175	60,590	59,575	59,081
一般顧客	60,227	59,654	59,267	60,022	60,364	63,044	60,121	59,849	59,365	58,733	57,731	57,346
金融法人(BtoB)	2,232	2,350	2,539	2,309	2,386	2,111	1,982	1,963	1,809	1,856	1,843	1,734
マネパカード口座数 (単位：口座)	162,828	163,034	163,058	163,086	163,138	163,159	163,034	162,996	162,802	162,492	162,309	161,921

年月	2022年3月期											
	2021年									2022年		
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
営業収益 (単位：百万円)	445	403										
外国為替取引高 (単位：百万通貨単位)	72,253	82,478										
外国為替取引口座数 (単位：口座)	342,801	343,397										
外国為替取引預り証拠金 (単位：百万円)	58,635	56,276										
一般顧客	57,068	54,786										
金融法人(BtoB)	1,567	1,489										
マネパカード口座数 (単位：口座)	161,712	161,526										

- (注) 1. 外国為替取引高は、顧客との相対取引による通貨毎の取引高を原通貨単位のまま合計したものであり、円換算は行っていません。
2. 外国為替取引口座数、マネパカード口座数及び外国為替取引預り証拠金は、それぞれ月末時点の口座数及び残高であります。
3. 2011年8月より差金決済取引(CFD)の取扱いを開始しており、CFDにおける預り証拠金、取引高(原取引単位を米ドルに換算)及びこれに伴うトレーディング収益はそれぞれ「外国為替取引預り証拠金」、「外国為替取引高」及び「営業収益」に含めて表示しております。
4. 外国為替取引預り証拠金は、一般顧客からの取引によるものとBtoB取引先である金融法人からの取引によるものを区分して表示しております。
5. 2020年7月から2021年3月までの「営業収益」には連結子会社のコイネージ株式会社の数値が含まれております。なお、同社は2021年3月31日をもって暗号資産交換業を廃業し解散しております。

< 5月次の概況 >

5月の外国為替相場は、米ドル／円については、1ドル＝109円台前半で取引が始まり、初日に109円台後半まで上昇した後109円を割り込み、その後は109円から109円台前半のレンジで推移しました。7日には4月の米国非農業部門雇用者数が事前予想を大きく下回り108円台前半まで急落し安値を付けました。12日には米4月CPIが12年7カ月ぶりの高い伸びとなり、インフレ懸念が台頭、米金利が大きく上昇し、109円台後半まで上昇しました。その後は市場が冷静さを取り戻すと緩やかに値を下げ、19日にはビットコインが急落すると円が買われ、108円半ばまで急落しました。その後、公表されたFOMC議事要旨では、早期のテーパリング議論開始が言及されていたことが分かったと、米金利が上昇し、109円台前半まで反発しました。その後は109円を軸に方向感に乏しい展開となりましたが、28日にはバイデン大統領の翌年度の歳出拡大公表を受け、米株高、米金利上昇となり、110円台前半の高値を付け、109円台半ばで月末を迎えました。一方、米ドル／円以外の主要な取扱い通貨である欧州・オセアニア通貨については、豪ドル／円は方向感の乏しい展開となりましたが、概ね円安方向での推移となりました。外国為替相場の変動率は、米ドル／円の月間の値幅（高値と安値の差）が1円86銭にとどまり、約1年半ぶりの狭さとなるなど、全体としては著しく低調な水準となりました。

このような状況の中、パートナーズFXnanoにおいて、米ドル／円のスプレッドを時間限定でゼロ（売買同値）とするキャンペーンを実施したことから、外国為替取引高は、米ドル／円を中心に増加し、前月比14%増加の824億通貨単位となりました。一方、営業収益は、相対的に収益性の低い米ドル／円の割合が高まり全体としての収益性が低下したこと等からトレーディング損益が減少し、また、システム関連の売上高も減少したことから前月比9%減少の403百万円となりました。また、外国為替取引預り証拠金は一般顧客分と金融法人分が共に減少となり、全体では2,358百万円減少の56,276百万円となりました。

以 上